

## 第17回宇宙安全保障部会 議事要旨

### 1. 日時

平成28年11月7日(月) 14:00~15:30

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

片岡部会長代理、折木委員、久保委員、白坂委員、名和委員、山川委員

#### (2) 事務局

内閣府宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、松井参事官、行松参事官、高見参事官、佐藤参事官、守山参事官

#### (3) 関係省庁等

内閣官房国家安全保障局 吉田内閣審議官  
内閣衛星情報センター 管理部 総務課 伊藤課長  
総務省 情報通信国際戦略局 宇宙通信政策課 星係長  
国立研究開発法人 情報通信研究機構 宇宙環境研究室 石井室長

### 4. 議事要旨

#### (1) 短期打上げ型小型衛星について

短期打上げ型小型衛星について、資料1に基づき、内閣衛星情報センターより説明を行った。当該説明に対して、委員から以下の質問があった。(以下、○質問等、●事務局の回答)

○短期打上げ型小型衛星の打上げ手段については検討中とあるが、短期打上げの実現に向けては、打上げ手段も重要な要素となるため、よく検討を深めてもらいたい。

○この短期打上げ型小型衛星は、宇宙基本計画の工程表においては、「情報収集衛星」の枠組みで扱うのか、「即応型小型衛星」の枠組みとして扱うのか。

●整理としては、これを予算化する内閣情報調査室が使いやすいように、工程表に反映することが主であり、双方にリファレンスを入れていくことも一案だと思う。

#### (2) 宇宙天気予報について

宇宙天気予報について、情報通信研究機構(NICT)より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。(以下、○質問等、●NICT等の回答)

○宇宙天気予報が諸外国に比べ日本ではあまり利用されていないということだが、なぜか。

●宇宙天気予報の利用について、民間での議論はかなり進んでいるが、海外では防衛関係機関での関心が高く交流が盛んなのに対し、日本では、防衛関係者とのコミュニケーションが深まってはいない。

●防衛省は、今後Xバンド通信衛星を打上げるなど、宇宙利用が広がっていくことから、今後議論が活発していくものとする。

(3) 宇宙システム全体の抗たん性強化について

宇宙システム全体の抗たん性強化に関する主要事項について、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。(以下、○質問等、●事務局の回答)

○抗たん性に関して、米国の定義に比べ我が国ではもう少し広い概念を用いるとのことだが、米国の定義から幅を広げた理由は何か。

●米国は抗たん性というものをかなり狭い範囲で定義している。我々としては、最終的に目指すべきものが、宇宙において機能を安定的に確保していくため、システムを強靱なものにしていくことであり、そのために障害発生時の再構築なども含め広い範囲で抗たん性を定義している。

(4) 宇宙基本計画工程表の改定について

宇宙基本計画工程表の改定案について、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の意見があった。(以下、○意見等)

○短期打上げ衛星に関して、工程表のいくつかの項目にまたがって記載があることから、どの項目に記載するのが適切かよく検討してほしい。

以上